

# 2018年(平成30年)【オプション検査】内容等・料金表(1)

消費税8%

申込コード	検査名称	検査内容	内容説明	料金 (税抜)	料金 (税込)	検査分類
OP 01	大腸がん便潜血検査	便潜血反応検査2日法(ヒトヘモグロビン)	大腸がんなどを調べる検査です。近年非常に増加傾向にあるがんのひとつとなっています。検査方法は非常に簡単で便を少量採取するだけで、食事の制限もありません。また、人体のヘモグロビンだけに反応する検査をします。専用容器に便を少量採取します。容器内には保存液が入っていて、提出日(実施日)前の1週間以内に採取されたものであれば検査可能です。生理中およびその直後の採便は避けてください。	1,500円	1,620円	採便容器
OP 02	肺がん喀痰検査	喀痰細胞診検査	肺がんなどを調べる検査です。のどより下の気道からの過剰な分泌物が痰です。気道に異常があると、痰に異物や細胞が混ざってきます。喀痰細胞診はそのような痰に混ざっている細胞の性質が、良性か悪性かを調べます。専用容器に3日間分の痰を採取してください。	2,500円	2,700円	喀痰容器
OP 03	子宮頸がん細胞診検査 (自己採取法) ※女性のみ対象	子宮頸がん細胞診検査 (自己採取法) ※女性のみ対象	子宮頸がんなどを調べる検査です。子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がん(内膜がん)があります。この検査でチェックするのは、子宮頸がんです。腔内にある子宮の細胞を5段階評価します。生理中およびその直後の採取は避けてください。	2,500円	2,700円	自己採取キット
OP 19	腎・臍機能血液検査セット	尿素窒素 e-GFR 尿酸 アミラーゼ	腎臓を調べる尿素窒素とe-GFR、痛風を調べる尿酸、臍臓を調べるアミラーゼの4項目をセットにした血液検査です。 ※各検査の詳細については「OP10・生活習慣病追加血液検査」をご参照ください。	500円	540円	採血
OP 16	ペプシノゲン検査	慢性萎縮性胃炎検査 (ペプシノゲン法)	慢性萎縮性胃炎などを調べる検査です。血液に含まれているペプシノゲンという物質の量を測ることで胃がんの前段階ともいえる「慢性萎縮性胃炎」を診断します。 (なお、この検査は進行癌や未分化型腺癌などには向いていません。)	2,000円	2,160円	採血
OP 26	心不全マーカー検査	NT-proBNP検査	NT-proBNPは、心筋ストレスにより増加するproBNPに由来するものであり、NT-proBNPを活用することで糖尿病、高血圧の方の心不全の早期発見に有効な検査です。	2,000円	2,160円	採血
OP 21	前立腺腫瘍マーカー検査	P S A ※男性のみ対象	PSAは、前立腺上皮から特異的に作られる成分で、糖と蛋白が結合した糖蛋白成分です。異常があるとPSAの値が上昇し前立腺検査の腫瘍マーカーの中でも特に有用性が確認されている検査です。前立腺がん、前立線肥大などの発見に有効な検査です。	2,000円	2,160円	採血
OP 22	卵巣腫瘍マーカー検査	CA125 ※女性のみ対象	CA125は、卵巣がんに特に鋭敏に反応するため、そのスクリーニング検査や経過観察、治療効果判定の目安とされています。妊娠時や月経期に一過性に上昇します。	2,500円	2,700円	採血
OP 33	消化器腫瘍マーカー検査3種セット	CA19-9 A F P C E A	主に臍臓・胆道がんのスクリーニングに用いられるCA19-9、肝臓がんのスクリーニング検査に用いられるAFP、胃がんや大腸がんなどの消化器系がんのスクリーニングに用いられるCEAの3つの腫瘍マーカーをセットにした検査です。	5,500円	5,940円	採血
OP 30	男性腫瘍マーカー検査4種セット	P S A CA19-9 A F P C E A	上記の消化器腫瘍マーカー検査3種セット(CA19-9、 AFP、CEA)に加え、男性には前立腺腫瘍マーカーのPSAを、女性には卵巣腫瘍マーカーのCA125を追加したそれぞれ4つの腫瘍マーカーをセットにした検査です。	7,000円	7,560円	採血
OP 31	女性腫瘍マーカー検査4種セット	CA125 CA19-9 A F P C E A	上記の消化器腫瘍マーカー検査3種セット(CA19-9、 AFP、CEA)に加え、女性には卵巣腫瘍マーカーのCA125を追加したそれぞれ4つの腫瘍マーカーをセットにした検査です。	7,500円	8,100円	採血

## 2018年(平成30年)【オプション検査】内容等・料金表(2)

消費税8%

申込コード	検査名称	検査内容		内容説明	料金 (税抜)	料金 (税込)	検査分類
OP 10	生活習慣病追加血液検査 (定期健康診断の基本血液検査をご受診の方がお申込できます。)	血液学・炎症反応	血小板数	血小板は、出血したときに血を止める働きをします。血小板の増減には白血病などの重い病気が隠されていることがあります。	1,500円	1,620円	採血
			M C V M C H M C H C	赤血球の平均的な大きさを示すMCV(平均赤血球容積)、赤血球内に含まれるヘモグロビンの平均的な量を示すMCH(平均赤血球ヘモグロビン量)、赤血球の容積に対するヘモグロビンの平均濃度を示すMCHC(平均赤血球ヘモグロビン濃度)を検査し、赤血球の状態を判定して貧血の診断に役立てます。			
			C R P (定量法)	CRPは、C反応性蛋白とも呼ばれ、組織の破壊や炎症が起こると血液中に現れる物質です。急性肝炎、心筋梗塞や血管閉塞などの虚血性疾患、関節リウマチなどの診断にも用いられます。			
		肝機能	総蛋白	総蛋白は、血清中に含まれている蛋白の総称です。肝臓や腎臓の障害などで体内の代謝などに異常が生じると、値が変動します。			
			総ビリルビン	ビリルビンは、赤血球中のヘモグロビン(血色素)から作られる色素です。血清中にビリルビンが増加すると皮膚は黄色になります。これを黄疸と呼びます。肝機能検査の重要な指標となります。			
			アルブミン	アルブミンは、肝臓以外では作られません。そのため肝機能が低下するとアルブミンの生成量も低下し、血液中のアルブミンも低下します。その低下の程度で病気の重さを判定します。			
			A L P	肝機能障害により胆汁の流れが阻害されると、胆汁中に存在するALPが血液中に漏れ出し、数値が上がります。またALPは骨でもつくられているため、成長期の子どもや骨の病気などでも数値が上がります。			
		腎機能・痛風	尿素窒素	尿素に含まれる窒素分を尿素窒素といい、体内で代謝された蛋白質の老廃物です。腎機能が衰えると、血中の尿素窒素が高くなります。			
			e-GFR (クレアチニン)	血清クレアチニン値と年齢・性別から推算糸球体濾過量(e-GFR)を推算します。この値は老廃物を尿へ排泄する能力が腎臓にどのくらいあるかを示すもので、値が低いほど腎臓の働きが悪いということになります。			
			尿酸	細胞中の核酸の代謝によって生じた燃えかすで、腎臓でろ過され尿中に排泄されます。尿酸は血液に溶けにくく、多すぎると針状の結晶となって関節や腎臓にたまり、痛風や腎障害・腎臓結石の原因となります。			
		膵機能	アミラーゼ	血液検査で唯一膵臓の異常を知る手がかりがこの検査です。アミラーゼは、主に膵臓と唾液腺から分泌される消化酵素で、でんぷんなどの糖質を分解します。膵臓に異常が起きると血液中のアミラーゼが高値となります。			
		※この生活習慣病追加血液検査は、定期健康診断の基本血液検査の受診が必須です。					

## 2018年(平成30年)【オプション検査】内容等・料金表(3)

申込コード	検査名称	検査時間	内容説明	消費税8%		
				料金 (税抜)	料金 (税込)	最低実施人数 最低保証料金
OP91	腹部超音波 (エコー)検査 ※女性のみ対象	4~5分	超音波は耳に聞こえないくらいの周波数の高い音で、一定方向に強く直進する性質があります。腹部に超音波を発信すると、音波は身体の中の臓器の形や組織の状態によってさまざまな変化を受けます。その変化して返ってくるエコー(反射波)を受信し、画像化して診断します。この検査では、主に肝臓・胆嚢・腎臓などの臓器を検査し、胆石、ポリープ、腫瘍などを調べます。1cmの肝がんや2mmの胆石も発見される場合があります。	4,000円	4,320円	最低実施人数 30名(部位) 以上 最低保証料金 129,600円
OP92	乳腺超音波 (エコー)検査 ※女性のみ対象	4~5分	胎児の観察などでも用いられる安全な超音波検査で、乳腺を検査します。乳腺症、乳腺炎、乳がんなど、乳房の内部の構造を観察しながら、触診では検出できない小さな病変を見つけることができます。	4,000円	4,320円	
OP93	子宮超音波 (エコー)検査 ※女性のみ対象	4~5分	子宮筋腫、ポリープ、子宮がんの発見に有効です。子宮を超音波で診る場合は膀胱(ぼうこう)に尿をできるだけ沢山ためて検査をします。	4,000円	4,320円	
OP95	眼底検査 (両眼撮影)	2~3分	目の奥の網膜に走る血管の状態を、カメラで撮影して検査します。網膜障害や網膜症などの眼の病気のほかにも、高血圧や動脈硬化による血管の変化や糖尿病、腎臓病、脳腫瘍など全身の病気の変化が眼に現れるのを見て、病気の発見に役立てます。	2,500円	2,700円	最低実施人数 50名以上 最低保証料金 135,000円
OP99	胃部 レントゲン検査	5~6分	一般的には「バリウム検査」と呼ばれている検査で、バリウムを飲んでレントゲン撮影を行い、胃の全体の形を見る検査です。胃の粘膜の凹凸に異常があれば、そのまま映しだされます。炎症・ポリープなどの発見にも有効です。 (直接撮影もしくはデジタル撮影)	9,000円	9,720円	最低実施人数 30名以上 最低保証料金 291,600円

### 注 意

- ◆ オプション検査は定期健康診断に追加できます。事前の申込をお願いします。  
オプション検査の申込は、受診予定者名簿に申込コード (OP●●) をご記入ください。  
なお、オプション検査単体での申込はお受けできません。
- ◆ こちらに記載されている血液検査は、定期健康診断の血液検査で採血する検体で検査ができます。
- ◆ オプション検査費用は、定期健康診断の請求書に含めて事業所様に一括で請求させていただきます。  
健診当日の受診者様からの支払いはお受けできませんので、ご了承ください。
- ◆ OP91~OP99のオプション検査は専用の検査機器（車両）が必要となるため、最低実施人数と最低保証料金を設定させていただいております。  
受診される方が最低実施人数に満たない場合には、最低保証料金を請求させていただきます。